

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、25～28℃台を示し、やや低め～平均並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――台風と月夜間に出漁日数が少なかった。西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週の57%（前年を下回った）。
- イカ釣――台風と月夜間に出漁日数が少なかった。スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり2kgの水揚げで、前週の33%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり10kgの水揚げで、前週の18%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり52kgの水揚げで、前週の68%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり236kgの水揚げで、前週の24%（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり1.8トンの水揚げ。対馬西岸地区では、イサキなどが1日1統当たり141kgの水揚げ。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/10～9/14の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆付近で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖～松山沖で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-20号 小トビ（トビウオ未成魚）飛翔目視調査結果【2】」、「第4-21号 五島灘・五島西沖・対馬東水道の観測結果」、「第4-22号 6県ケンサキイカ情報（令和4年度第4号）」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>